

校長あいさつ

さいたま市立大宮西小学校 校長 菊地 勇

～学校教育目標～

明るく元気な子 なかよくする子 かんがえる子 つたえあう子

～目指す学校像～

自分と共に他の人を大切にする学校（**自他共愛**）

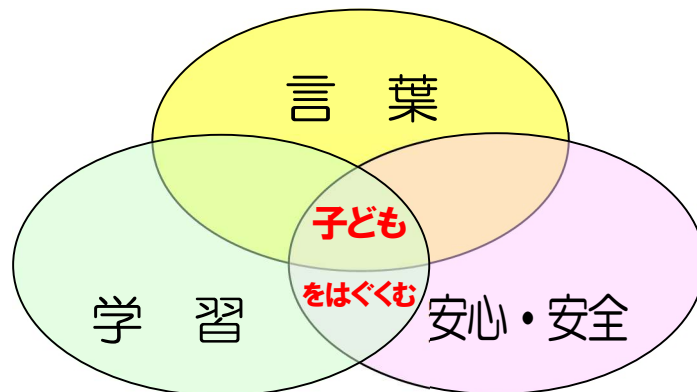
◎目指す子ども像

<明るく元気な子>	<ul style="list-style-type: none">・元気にあいさつのできる子・健康づくりに取り組み、安全への意識をもてる子
<なかよくする子>	<ul style="list-style-type: none">・思いやりをもち、相手を大切にできる子・自然や美に感動し、素直な心で感謝の気持ちをもてる子
<かんがえる子>	<ul style="list-style-type: none">・基礎・基本を身に付け、進んで学習する子・新しい考え方、見方をもてる子
<つたえあう子>	<ul style="list-style-type: none">・他の考えを進んで聞いて、自分の考えを伝える子・コミュニケーション能力をみがく子

令和8年度が始まりました。開校57年目となる大宮西小学校の歴史と伝統を引き継ぎ、保護者や地域の皆様から、信頼される学校づくりを進めてまいります。

令和8年度の経営の重点目標

『3つの環境（言葉、学習、安心・安全）』が子どもをはぐくむ



(1) 「言葉」の環境を整える

①言葉遣いが心をつなぐ・心をはぐくむ

- ・大人（教職員・保護者等）の適切な言葉遣いが、児童の見本となることを意識し、児童の言葉遣いの向上・改善を図る。（家庭・地域との連携）
- ・大人対子ども、教師対児童ではなく、一人の人間として接することを大切にできる教職員。
- ・心を潤す4つの言葉、心を元気にする4つの言葉 は、教職員が率先垂範し、児童、地域へ拡大していくことで、環境整備を図る。

心を潤す4つの言葉 「はい」「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」

心を元気にする4つの言葉 「また明日」「大丈夫、大丈夫？」「自分を信じて」「ちょっとずつでいいよ」

②「挨拶」ができる学校へ

- ・「挨拶」は、会話のきっかけを作り、気持ちを伝えるのに有効な言葉である。
- ・自分の気持ちが伝えられる児童の育成に努める。
- ・礼儀正しい児童の育成につなげる。

③児童の発言、教師の発問の質の向上

- ・普段からの会話、授業中の児童と児童、教師と児童の会話を大切にする。

④「伝える力」をはぐくむ（自分の思いや考えを相手に伝えられる力をはぐくむ）

- ・声に出して発表する力（発表形態の工夫：ペア・小グループ・全体）
- ・文字にして表現する力（書く力・タブレット端末の利用）

(2) 「学習」の環境を整える

①「分かる」環境の提供

- ・コーチングの視点を導入した授業（児童が主体的に学ぶ授業）の構築
- ・スクールダッシュボードの活用による学習のつまずきの早期発見と指導に生かす取組
- ・タブレット端末を活用した授業実践（効果的な活用を目指して）
- ・ドリルパーク等の ICT を活用した個別最適な学習の推進（学校+家庭学習での活用）
- ・教科担任制の充実（高学年） ※中学年導入に向けての準備を推進
- ・体力向上（体育授業や休み時間の取組）：学校体育がきっかけとなって、運動への習慣化が図れるようにする
- ・教科横断的な取組やICTの積極的な活用を通して ～教育課程の工夫

②「できる」環境の提供

- ・児童が「分かる」「できる」が実感できる環境（授業のふりかえり、学び方の選択等）の提供
- ・週2回の朝自習「まなぶくんタイム」（基礎学力アップ）の時間の確保と充実
- ・家庭学習の充実（家庭との連携）：家庭で取り組む学習例の紹介・タブレット端末の活用
- ・地域の環境、人材の活用（体験学習の充実、質の高い実感できる教育の提供）

③教員の資質向上

- ・学校課題研修（教職員）の充実と授業実践研修の実施

- ・「教師が互いの授業を見合い、議論する」職員室文化の醸成
- ・研修会への参加：個人の研修で終わらせるのではなく校内へ広め、情報の共有化
- ・教職員のメディアリテラシーの向上及び情報管理への徹底した行動力で組織力の向上

④「潤い自然園」の活用

- ・SDGsを意識した学校の取組の体系化
- ・「潤い自然園」の活用（生活・理科・総合的な時間等との教科横断型教育の推進：STEAMS教育の推進）
- ・環境整備の推進（学校・保護者・地域との連携）

(3)「安心・安全」の環境を整える

①生徒指導・教育相談体制の充実

- ・教職員のカウンセリングマインドの向上
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他専門機関との連携
- ・スクールダッシュボードの活用による児童理解、早期対応
- ・教室に入れない児童の学習の場、居場所づくり ～ S o l a る一む運営の推進

②交通安全、生活安全（防犯）、災害安全（防災）の各教育の推進【自分の命は自分で守る】

- ・保護者・地域との連携
- ・警察、区役所等との連携
- ・通学路の点検（一斉下校：4月・7月・12月・3月）

③保護者・地域住民とのつながりに向けて

- ・懇談会・学校公開日の実施
- ・学校運営協議会からの発信
- ・地域行事への参加、地域の方との交流（地域の方の顔が分かる）
- ・Webページの充実及びアプリ「スクリレ」の積極的な活用

～ ペーパーレス化の推進及び情報の受け取りやすさの工夫

④いのちの支え合いの授業の実施

⑤食物アレルギー対応の徹底、食育の推進

⑥美しい教育環境づくり

- ・清掃活動の充実（きれいな環境は児童を落ち着かせる。ごみを捨てない子へつながる）
- ・子どもの作品を大切にす掲示（他から学ぶ、自分に生かす環境づくり）
- ・栽培活動の工夫（自然を大切にす心をはぐくむ）

私たちは、子どもたちがこれからの時代を心豊かに、たくましく生きていく力を育成するために、ともに連携・協力し、子どもを育てる「共有」をしていきたいと思ひます。その時に、「自分のことを大切にす、他人（友だちや周りの人たち）のことも同じように大切にす」という本校が掲げる「自他共愛」の心を大切にす教育について、教職員一同力を合わせて行ってまいります。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様のあたたかなご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。